ホームページでも他のセミナー詳細がご覧いただけます（セミナーのお申込もできます）
http://www.kinyu.co.jp　リニューアル再々演

回覧				

人工知能関連ビジネスの法的実務の課題と対応の方向性

～人工知能（ＡＩ）、自動運転自動車、ロボット、フィンテックを中心に～

ドローン、３Ｄプリンタ、ロボット、ＩｏＴ、自動運転車の法的課題まとめを受講者に限定配布

講師 足羽教史（あしわたかし） 氏
インクリメントＰ株式会社
知的財産法務部長

講師 牧野和夫（まきのかずお） 氏
芝綜合法律事務所 弁護士·弁理士·米国ミシガン州弁護士（元アップルコンピュータ（株）法務部長）

日時　平成29年4月13日（木）午後1時30分～午後５時00分

人工知能（AI）の開発が急速に進んでいます。ロボットや自動運転車の実用化が現実のものになり、インターネット上はAI技術の活用が進んでいます。2045 年にはAIが全人類の脳を超える「シンギュラリティー（技術的特異点）」が到来します。AIが自律的に行動するようになったとき、どのような法的課題が生じるのでしょうか。本講座では、まずは、技術やビジネスがどこまで進みつつあるのか現状把握を行い、日米の法規制の検討を行った上で、大きな流れの本質をとらえて、AI·ロボット·自動運転の法的実務の課題と対応の方向性について、検討することを目的としています。

本セミナーでは、最初に第1部として、人工知能とビッグデータの専門家として（「風観羽」のブロガーとしても）著名なインクリメントP株式会社知的財産法務部長足羽教史氏（NIRA客員研究員）から、日米の産業界·消費者業界で一体何が起きているのか、起きようとしているのか、企業の経営者や管理者はどのように対応して行ったらよいのかをご説明し、次に第2部として、自動車（いすゞ）とIT（アップル）で法務責任者の経験のある牧野和夫氏がAI·ロボット·自動運転の法的実務の課題と対応の方向性について検討します。

デバイスカテゴリー毎の法的課題まとめ（ドローン、3Dプリンタ、ロボット、IoT、自動運転車）を受講者に限定配布します。

第１部　日米の産業界・消費者業界で一体何が起きているのか、起きようとしているのか～足羽教史氏

1. 企業の競争は新次元へ／日本のやり方が通用しない！
2. デジタルデータがもたらす飛躍／すべてがデジタルデータへ！
3. ビッグデータから有用な智慧を引き出す人工知能
4. 現代～近未来の競争条件とは
5. ブロックチェーンがもたらす革命の真の意味
6. プラットフォーマーが支配する市場／生態系化してシェアとアクセス中心へ
7. 自動車産業が先導する人工知能等の先端技術の法律問題の行く末
8. アーキテクチャー過剰社会にどう対処するか
9. 法律分野に関わる重すぎる課題
10. 近未来の法律実務家に求められる要件

第２部　ＡＩ・ロボット・自動運転の法的実務の課題と対応の方向性について～牧野和夫氏

はじめに 「AIとビッグデータ」の整理の仕方
人工知能関連ビジネスの法的課題の整理【試案】

1. AIの技術革新は法制度にどのような影響を与えるか［制度設計］
2. AIが人間にケガをさせたら誰が民事責任を問われるか
3. AIに刑事責任は問えるのか＋倫理的課題は残るか？
4. AIに緊急避難は適用されるか（いわゆるトロッコ問題）
5. データ·プライバシー保護の問題への対応はどうすべきか
6. AIが作った知的財産は誰のもの？人工知能の権利化は可能か？
7. 雇用への影響/ ヒトの教育はどうあるべきか？
8. 税収はどうなるのか？[誰が払うのか]課税できるのか？
9. 日本の学会、業界団体の動き
10. これからの企業経営の在り方·方向性
11. FinTech の課題と取り組みについて

最後に　今後の人工知能関連ビジネスのキーワードは何か？

第３部　ＡＩ関連技術の進展と今後の企業経営の在り方（足羽氏と牧野氏の対談形式）

【足羽教史氏】 慶應義塾大学経済学部卒。トヨタ自動車（株）、三菱石油（株）を経て現職。2014 年～総合研究開発機構（NIRA）客員研究員、「風観羽」のブロガーとしても著名。

【牧野和夫氏】 1981 年早稲田大学法学部卒。1989 年 GM Institute 修了、1991 年ジョージタウン大学ロースクール法学修士号、2013 年ハーバード·ロースクール交渉戦略プログラム修了。いすゞ自動車株式会社法務部課長、アップルコンピュータ（株）法務部長、早稲田大学大学院講師、東京理科大大学院客員教授、尚美学園大大学院客員教授を経て、現在、英国国立ウェールズ大学大学院（ビジネススクール）教授、関西学院大学法学部·商学部講師、明治学院大学法学部講師、国士舘大学大学院講師、企業法務協会理事など。主な著書に「英文契約書の基礎と実務」DHC、「国際取引法と契約実務（3訂版）」（共著）、以上中央経済社、「契約書が楽に読めるようになる「英文契約書の基本表現」」日本加除出版、「知的財産法講義（三訂版）」税務経理協会、ほか現在まで著書は 66 冊を数える。

※　録音·ビデオ撮影はご遠慮下さい。

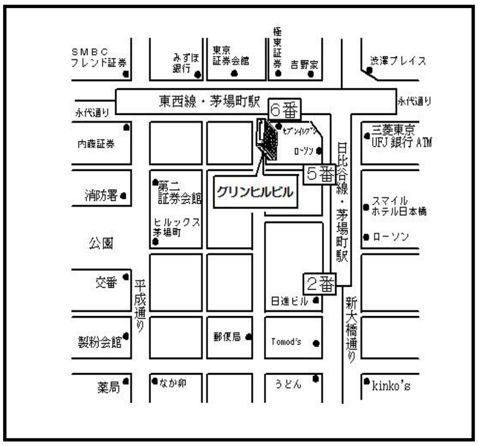
■主催　経営調査研究会
■後援　金融財務研究会
http://www.kinyu.co.jp
Facebook：http://www.facebook.com/keichoken
Twitter：https://twitter.com/#!/keichoken
Blog：http://keichoken.blogspot.com/

開　催　日

平成２９年4月１３日（木）
１３：３０ ～17：００

会　　場

茅場町･グリンヒルビル
金融財務研究会本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8
TEL　03-5651-2030
地下鉄東西線・日比谷線 茅場町駅
６番出口より徒歩１分
（開場は開演の３０分前です。）



参　加　費

１名につき３４,７００円
（消費税、参考資料を含む）
１社２名以上同時に参加お申込みいただいた場合、お２人目から１名につき２９,０００円。追加申込みの場合はその旨ご記入下さい。

申　込　先

経営調査研究会　ホームページ http://www.kinyu.co.jp/
〒103-0025　東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8 グリンヒルビル
TEL　03-5651-2033　　**FAX　03-5695-8005**

申込方法

ファックス又は郵便にて参加申込書をお送り下さい。上記ホームページの申込欄からもお申込いただけます。折り返し、受講証と請求書を郵送致します。参加費は下記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。（但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。）参加費の払戻しは致しませんので申し込まれた方がご都合の悪い時は代理の方がご出席下さい。又当日ご参加になれなかった場合、当社および金融財務研究会主催の他のセミナーに無料でご出席いただけます。（但し新しいセミナーの参加費との差額が 2,000 円以上の時は差額をお支払いいただきます。また、振替は１年以内にお願いいたします。）

ご記入いただきました個人情報は、当社および関係会社の受講者名簿の整備や今後開催されるセミナーのご案内等に使用します。

振込口座

普通預金　口座名　(株)経営調査研究会

三菱東京 UFJ 銀行	八重洲通支店	0602180	三井住友銀行	東京中央支店	3207281
みずほ銀行	京橋支店	1813877	三菱 UFJ 信託銀行	日本橋支店	1979947

---------- 切らずにこのままお送り下さい ----------

FAX　03-5695-8005

人工知能関連ビジネスの
法的実務の課題と対応の方向性
４／１３

◆参加申込書◆

平成２９年　　月　　日

ご連絡・講師へのご質問等ご記入下さい				
	会　社　名	TEL FAX E-Mail		
	所　在　地	〒		
	参加者ご氏名		部課名	
	〃		〃	
	〃		〃	
	〃		〃	
*ｾﾐﾅｰｺｰﾄﾞ 0705（Law-290705）	書類送付先 (同上の場合記入不要)	ご担当者 TEL	部課名 FAX	

お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。